

2025年7月

科学基礎論学会
会員各位

科学基礎論学会
奨励賞選考委員会

本学会では、若手研究者育成のため、優れた論文の著者を対象にした奨励賞を設けています。つきましては、2024年度奨励賞の会員による推薦を下記の要領で募集することといたします。推薦は自薦・他薦を問いませんが、2025年8月31日（日）必着で、事務局に郵送もしくはメールにてご提出ください。

【選考要綱】

『科学基礎論研究』、*Annals* いずれかの機関誌に2024年度に発表された論文の著者で、投稿受付時点で45歳未満の会員を対象とする。ただし、選考時点で理事・選考委員である者、ならびに、その時点までにそのいずれかを経験している者を除く（次頁「奨励賞選考対象者一覧」参照）。単年度を範囲に1ないし2名を選出する。副賞として10万円を授与（2名の場合は折半）。なお、奨励賞選考委員は理事会を選出する。

【推薦要領】

- (1). 所定の書式（学会ウェブサイトからダウンロードできます）を用い、郵送もしくはメールで事務局へ2025年8月31日（日）までに送付する。
- (2). 自薦、他薦のいずれでもよい。
- (3). 記名で、会員一人あたり2名まで推薦できる。
- (4). 推薦にあたり400字以内でその理由をつける。

【選考結果】

選考委員会で選考し、理事会で承認する。結果は本人に通知し、学会ウェブサイトで公表する。表彰式（および副賞の授与）は2026年度総会で行う。

【送付先】

〒108-0023
東京都港区芝浦2-14-13 MCKビル2階
笹氣出版印刷株式会社内
科学基礎論学会事務局
E-mail : kisoron@sasappa.co.jp

以上

2024 年度 奨励賞選考対象者一覧

掲載雑誌	氏名	所属(投稿時点)	論文名
『科学基礎論研究』 52 卷 1・2 号	呉羽 真	山口大学	メタバースは解放をもたらすか？—改善論の立場から—
『科学基礎論研究』 52 卷 1・2 号	藤川 直也	東京大学	
『科学基礎論研究』 52 卷 1・2 号	田中 凌	東京大学	意味することと意味を明示化すること—規則遵守の問題における意味の知識にかんする論点—
『科学基礎論研究』 52 卷 1・2 号	藤原 諒祐	東京大学	知覚的で相互行為的な他者理解と理論説
『科学基礎論研究』 52 卷 1・2 号	岡部 幹伸	慶應義塾大学	マクダウェルにとって概念主義論争はなぜ終焉を迎えるのか
<i>Annals</i> , vol. 33	豊岡 正庸	北海道大学	How Can We Avoid Popper's Collapsing Problem and Have Craig Interpolation?

-----<-----<-----<-----
科学基礎論学会

2024 年度奨励賞の推薦について (提出は 2025 年 8 月 31 日 (日) 必着)

推薦者氏名 _____

被推薦者氏名と論文名: _____

推薦理由 (400 字以内): _____